
液晶画面からコンニチワ

水無月五日

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

液晶画面からコンニチワ

【Nコード】

N3837A

【作者名】

水無月五日

【あらすじ】

朝起きたら携帯に異変が…そんなお話です。

…これはどういうことだ？

俺は朝から混乱してる。

原因はこれだ。

「おはようございます!!」

もう八時前ですよ!! 学校遅刻しちゃいますよ!!」

と、女の声。

…これだけでは解らないな。

ひとつひとつ解決してゆこう。

まず、俺は携帯に起こされた。

携帯に毎朝起こされるのは当然だ。

俺の部屋には恥ずかしながら目覚まし時計が無い。

唯一アラーム機能が搭載されてある携帯を目覚まし代わりに使っている。

この機能は最近の、中高校生に限らず、社会人も使っていると思う。うん、これで携帯に起こされたのは納得できた。

次に、俺はアラームの音楽設定を最近流行の曲をセットしていた。

携帯のメモリーの中には間違ってもこのようなボイスは入っていない。

と、なると誰かが勝手に保存し、アラームの音楽をこれに設定したと言うことだ。

まず、考えられるのは兄弟。

生憎俺は一人っ子で兄弟はいない。

次に考えられるのは親。

それはありえない。

ビデオのGコード録画操作もろくにできない両親がこんなことを出

来うるはずもない。

最後に考えられるのは友人の悪戯。

だが、俺は元来人に携帯を扱わせるのは好きではないから、此処数ヶ月ずっと家に携帯は置いてある。

以上の点を踏まえてもう一度携帯を見よう。

「だ〜から、遅刻ですよ〜このままじゃあ…アレ？聞いてます〜」

2・8インチの巨大液晶画面には女の子の可愛いアニメ調の画像がある。

…理解できない。

あと、付け加えるならば俺は待ちつけは風景画にしていたのだが。

俺がこうして必死に理解しようとする間も、携帯はやかましく喋る。ふと、部屋の壁掛け時計に目をやると…

A M 08:12 S A T

となっている。

このありえない状況に二十数分も考え込んでいたのか…俺。あることに気がついた。

S A T…今日は土曜日…

「馬鹿、今日学校休みだ阿呆」

俺は携帯にそう吐き捨てるとまた布団をかぶった。

これは夢だと信じて…

夢だとよかったのだが、そうはいかないらしい。

携帯には相変わらずあの状態。

俺が何をした、一体…

「おはようございます!!」

もうお昼ですよ!! そんなに寝ていたら脳が解けちゃいますよ!!
って、そんなことよりも充電、充電してください!!」

携帯の液晶画面を見ると電池マークはあと二つ。

いや、十分だろう、そんなにまだ残ってるのに充電できるか!!
バッテリーが駄目になるのが早くなる!!

「駄目だ、俺は充電がまだ残ってるうちには充電はしないんだ。
してほしけりや電池使い切れ。」

俺は充電コードを携帯に見せ付ける。

画像は目をつるつるさせながら充電してくれと頼み込む。

「じゅ、充電ッ!!」

人殺しッ、保険金詐欺ッ!!」

…何故充電しないだけで此処まで言われなきゃいけないのだろうか
…しかも携帯に。

そもそも人じゃないし、お前がどうにかなったら金払うのは俺だ。

「ちょ、充電しないとムービー撮りますよ、連続写メ撮りますよ!
」

勝手に撮ってる。

お前は一人じゃ何にも出来ない。
出来るとしたら真っ暗な画像を撮るだけだ。

「ぴろりろっんメール着信しました」

と、唐突だなおい…

メールはそんなものか…

液晶画面に着信二件と表示されてある。

「では、開きますよ」

おい待て、勝手に開くな。

プライバシーの侵害だぞ。

しかも画面だけじゃなくって他の機能も使えるのかお前…

「一件目…

差出人田中…

明日暇か？

暇なら例のファミレスで飯を食うぜ必ず来いよ！！」

携帯が勝手にメールの内容を声を出して読む。

うーんさすが3Dサウンド…響くぜ…

いや、だから勝手に開くなって…訴えるぞ。

訴えた時点で俺は病院へ搬送されそうだな…頭の病院に。

「二件目…

差出人恋のキューピット…

若いあなたにチャンスが待っています！

えっちな…」

無言でパワーボタンを押す。

いーち、にーい、さあーん…

ほら電源切れたよ！！

わあすごい！！

「ひどいです！！何で電源を落とすんですか！！」

ち、自動電源オンを使いやがったな…

迷惑メールを読むから悪いのだ。

というか何で俺の携帯にこのような異常事態が…

このようなアプリは入れた記憶は無い…

ん、そういや今日は確か近所のスーパーの安売りだったな…

ちよっと飲み物でも買いに行くか…

俺は立ち上がり、財布を片手に持つ。

「あれれ、どこか行くんですか、行くんなら私も携帯してくださいよ！」

携帯が携帯しろって言うか…

そしてお前を携帯するのは断る。

元のおとなしい携帯に戻ったら携帯してやろう。

「やーだやーだ、携帯を携帯しないなんて非常識です！！」

携帯はまだ譲らない…

こうなったら最終奥義…

電池パック抜いて放置！！

これでオッケーさ！！

はあ…これから俺はこの奇妙な携帯と暮らさなければいけないのか…
なんでこうなっただろう…

(後書き)

読んでいただきまして、ありがとうございました！
今回はちょっと変わった感じで書いてみました。
こついのあつたら自分は絶対びびります。
お付き合い、ありがとうございました！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3837a/>

液晶画面からコンニチワ

2010年10月21日23時27分発行